

## 令和3年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
2	5	5	教育統計調査費	100

部局名	教育部
課名	学校教育課

### I : 事業概要

施策事業名	教育統計調査
事業目的	学校に関する基本的事項を調査し、学校教育行政上の基礎資料を得ることを目的に実施する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●主な事業内容 学校基本調査に関する説明会の旅費、調査事務に係る必要経費。</li> <li>●主な予算の内訳 旅費2千円、消耗品費10千円</li> </ul>
事業の目標	学校に関する基本的事項を調査し、学校教育行政上の基礎資料を得る。

### II : 個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
教育統計調査	12	12	0	0	0	0%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	12	12	0	0	0	0%

令和3年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	1	1	教育委員会費	222

部局名	教育部
課名	学校教育課

I : 事業概要

施策事業名	教育委員会
事業目的	教育の機会均等、教育水準の維持向上及び地域の実情に応じた教育の振興を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●主な事業内容 教育委員の報酬、交際費等。</li> <li>●主な予算の内訳 委員報酬2,952千円</li> </ul>
事業の目標	定例教育委員会などの開催を通じて、教育の機会均等、教育水準の維持向上及び地域の実情に応じた教育の振興を図る。

II : 個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
教育委員会	3,039	0	0	0	3,039	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	3,039	0	0	0	3,039	100%

令和3年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	1	2	事務局費	222

部局名	教育部
課名	学校教育課

I：事業概要

施策事業名	事務局一般管理
事業目的	教育委員会事務局において、小中学校を管理運営していく上で必要な事業を行う。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●主な事業内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校教育一般管理費                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校を管理運営していく上で必要な附属機関における委員の報酬、職員旅費、各種協議会等負担金など</li> </ul> </li> <li>○就学時健康診断                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校保健安全法に基づき、小学校新1年生に対し健康診断を実施する。</li> </ul> </li> <li>○学校施設整備基金積立金                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・基金の運用により生じた利息を基金に積立て、学校の整備費に充てる。</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>●主な予算の内訳                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校教育一般管理費 派遣指導主事負担金 11,560千円 火災保険料 409千円</li> <li>○就学時健康診断 就学時健康診断医師報償金 1,133千円 通信運搬費 110千円</li> <li>○学校施設整備基金積立金 基金積立金 1千円</li> </ul> </li> </ul>
事業の目標	教育委員会事務局において、小中学校を管理運営していく上で必要な事業を行う。 通学路の安全対策を実施するため、通学路安全対策連絡協議会では、子どもたちが安心して通学できる歩行空間の確保を実現していく。 コロナ禍でも感染症対策を実施し、就学に向けた事業（健康診断、知能検査等）を実施する。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
学校教育一般管理	15,609	6	0	0	15,603	100%
就学時健康診断	1,600	0	0	0	1,600	100%
学校施設整備基金積立金	1	0	0	1	0	0%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	17,210	6	0	1	17,203	100%

令和3年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	1	2	事務局費	224

部局名	教育部
課名	学校教育課

I：事業概要

施策事業名	教育研究
事業目的	本来教育委員会で行うべき教育研究事業を各学校へ委託することで効率的・効果的に行う。人材や地域性を活かした、地域の宝（人・自然・文化・歴史伝統・産業など）に学ぶ教育活動を推進し、地域への愛着や誇りを育む。
事業内容	<p>●主な事業内容</p> <p>○教育研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学びの学校づくり推進事業：特色ある学校づくりの推進事業及び総合的学習時間研究事業の実施、地方教育行政の組織及び運営に関する法律による小中学校の教職員に対する教育研修事業の充実を、各校が推進していくことを「学びの学校づくり」として市内全小中学校へ委託する。</li> <li>・丹波地方教育事務協議会研究委嘱事業：指定校による教科全領域に係る研究。</li> <li>・学びの環境研究事業：校舎改築等に伴うより良い教育環境の構築に向けての調査、研究のための委託。</li> <li>・特別支援教育推進事業：特別支援教育の指導の充実を図るため犬山市小中学校特別支援学級連絡協議会へ委託。市内小中学校や犬山市民が在籍する各特別支援学校との交流及び連携。</li> <li>・キャリアスクールプロジェクト(県委託事業)</li> </ul> <p>生徒が職業の魅力を感じ、望ましい勤労観や職業観を醸成できるようにするため全中学校、全学年で実施する。</p> <p>○授業改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業改善委員会委託料</li> </ul> <p>国語・社会・算数・理科・英語において、犬山市の教師が授業改善を進めることで、子どもたちの学ぶ意欲や興味を向上させるとともに、基礎・基本の理解や定着と思考力・判断力・表現力などの育成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リーディングスキルテスト検定による読解力の定着度を客観的に測る。</li> </ul> <p>●主な予算の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○教育研究 教育研究委託料 6,728千円</li> <li>○授業改善 リーディングスキルテスト検定料 1,307千円</li> </ul>
事業の目標	授業改善委員会のうち、読書活動推進委員会では令和2年度に引き続き、読書量の増加に向けて取り組む。図書館コーディネーターに加え、新たに市立図書館に学校連携司書を1名配置し、学校司書とあわせて、学校図書と地域図書の併用による効果を高める。各校の読書指導計画に効果的に図書館司書が関わる手法を研究する。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
教育研究	7,043	135	0	6,908	0	0%
授業改善	1,407	0	0	0	1,407	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	8,450	135	0	6,908	1,407	17%

## 令和3年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	1	2	事務局費	224

部局名	教育部
課名	学校教育課

### I : 事業概要

施策事業名	私学助成
事業目的	保護者の負担を軽減し、公私間の格差是正のため助成を行う。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●主な事業内容 私立高等学校等に在籍する者の保護者に対して授業料の補助を行うことで、公私立学校間における保護者負担の格差是正を図り、教育の機会均等を確保し、私立学校教育の振興に寄与する。</li> <li>●主な予算の内訳 私立高校生授業料補助金 3,000千円</li> </ul>
事業の目標	保護者の負担を軽減し、公私間の格差是正のため助成を行い、教育振興を図る。

### II : 個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
私立高校助成	3,013	0	0	0	3,013	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	3,013	0	0	0	3,013	100%

令和3年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	1	2	事務局費	224

部局名	教育部
課名	学校教育課

I：事業概要

施策事業名	学校間ネットワーク
事業目的	犬山の学校教育の基本理念である「学びの学校づくり」に資するシステムとして、構築を図り運用する。 G I G Aスクール構想に基づき、児童生徒1人1台の情報端末を整備し、I C T機器を活用し授業改善を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●主な事業内容</li> <li>○校務支援パソコンの賃貸借、ハードウェア保守及びソフトウェアサポート             <ul style="list-style-type: none"> <li>・先生が共有したい情報を一元管理することで、一か所のデータ変更で関連するすべてのシステムに自動反映する。学校内はもちろん、学校間、学校と教育委員会間などの情報共有をサポートし、学校経営の改善と効率化を図る。</li> <li>・保健業務を電子化することで、学校での集計、さらに教育委員会における報告集計業務を効率的に行う。</li> </ul> </li> <li>○授業支援パソコンの賃貸借、ハードウェア保守及びソフトウェアサポート             <ul style="list-style-type: none"> <li>・文部科学省の「G I G Aスクール構想」に基づき、児童生徒1人に1台の情報端末を用意し、普通教室等での学習など利用目的に応じてI C T機器を活用できる環境を整備。</li> <li>・児童生徒が情報端末を円滑に利用できるようなシステム保守を行う。</li> </ul> </li> </ul> <p>また、授業におけるI C T機器活用における支援を定期的に行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●主な予算の内訳 学校間ネットワーク運営委託料 99,793千円 ネットワーク機器借上料 39,404千円</li> <li>●その他 平成23年9月にシステムの適正化と大幅なコストダウンを図るため、賃貸借・運用等個別に契約をする方式を、機器の導入からシステム再構築、保守・運用、運営支援を請け負う包括的業務委託に変更して契約を締結しており、平成29年度に契約更新を行った。 (契約期間：令和4年8月31日まで)</li> </ul>
事業の目標	児童生徒1人1台の情報端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、I C T機器を効果的に活用した授業改善を図る。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
学校間ネットワーク運用管理	149,240	0	0	0	149,240	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	149,240	0	0	0	149,240	100%

## 令和3年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	1	2	事務局費	224

部局名	教育部
課名	学校教育課

### I : 事業概要

施策事業名	適応指導教室
事業目的	学校生活への対応が困難な市内在住の小・中学校の児童生徒に対し再び学校集団へ戻る適応力を指導する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●主な事業内容 不登校児童生徒の相談及び指導を実施する。 家庭及び学校、関係機関との連携を図る。</li> <li>●主な予算の内訳 適応指導教室指導補助員謝礼 168千円 通信運搬費 138千円</li> </ul>
事業の目標	不登校対策として、スクールソーシャルワーカーと連携し、子どもたちが置かれた様々な家庭環境を改善するために、社会福祉等の専門分野と家庭をつなぐ。

### II : 個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
適応指導教室	443	0	0	0	443	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	443	0	0	0	443	100%

令和3年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	1	3	学校保健予防費	226

部局名	教育部
課名	学校教育課

I : 事業概要

施策事業名	学校保健予防
事業目的	健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●主な事業内容</li> <li>・教職員健康診断 学校保健安全法に基づき学校教職員の健康診断を実施。診断項目は施行規則に基づく。養護教諭等に対しB型肝炎抗原抗体検査を実施。そのうち陰性の者は医療機関にて予防接種を実施。</li> <li>・児童生徒健康診断 学校保健安全法に基づき、児童生徒の健康診断を実施。診断項目は施行規則に基づく。学校医が実施する項目と委託業者が実施する項目がある。血液検査は国規則にないが、生徒の生活習慣病予防の観点から実施。結核健診の結果に基づき結核対策検討委員会（事務局：江南市）が開催され、要精検者は胸部X線直接撮影を実施。</li> <li>・教職員ストレスチェック 労働安全衛生法に基づき、市内小中学校に勤務する学校教職員に対しストレスチェックを実施。</li> <li>●主な予算の内訳 教職員健康診断委託料 2,570千円 児童生徒健康診断委託料 2,455千円</li> </ul>
事業の目標	児童生徒や先生の健康の保持増進を図る。

II : 個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
学校保健予防	5,596	0	0	0	5,596	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	5,596	0	0	0	5,596	100%



令和3年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	2	1	学校管理費	228

部局名	教育部
課名	学校教育課

I：事業概要

施策事業名	小学校一般管理
事業目的	小学校を管理運営していく上で必要な事業を行う。
事業内容	<p>●主な事業内容</p> <p>○小学校管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校を管理運営していくための諸経費</li> <li>・学校保健安全法及び労働安全衛生法に基づき学校医等を配置し、健康診断等の実施に対し支払う報償費。</li> <li>・学校設備や環境整備に関する委託をはじめ、消耗品や光熱水費等の管理運営を行う。特に電気設備、消防設備、浄化槽設備、プールろ過機等は専門的な技師による管理を行う。</li> </ul> <p>○小学校給食</p> <p>学校給食法、学校給食衛生管理基準（文科省）に基づき、児童の心身の発達に資する学校給食を市内全校において自校方式で実施する。全ての学校で適切な食育が行われるよう、県費負担の栄養教諭等の配置が無い学校に市採用の栄養職員を配置する。調理機器は学校設置者である市が購入、リース契約をする。</p> <p>○犬山市立楽田小学校整備基金積立金</p> <p>基金の運用により生じた利息を基金に積立て、楽田小学校の整備費に充てる。</p> <p>●主な予算の内訳</p> <p>○小学校管理</p> <p>光熱水費 55,496千円 施設管理委託料 33,604千円 報償費 30,084千円</p> <p>○小学校給食</p> <p>賄材料費 226,215千円 学校給食調理業務委託料 162,862千円</p>
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校管理については、小学校を適切に管理運営していくために、学校からの要望を把握しつつ、光熱水費、消耗品費などコスト削減に取り組んでいく。</li> <li>・小学校給食については、調理業務を引き続き民間委託することで人件費を削減し、民間のノウハウと各校の食育活動と連携した魅力ある給食の提供を進める。また、単年度に要する費用の偏りや調理業務への支障が起きないように、調理機器の計画的な更新を進める。</li> </ul>

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
小学校管理	156,444	23	0	1,941	154,480	99%
小学校給食	405,218	0	0	225,112	180,106	44%
犬山市立楽田小学校整備基金積立金	1	0	0	1	0	0%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	561,663	23	0	227,054	334,586	60%

令和3年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	2	1	学校管理費	230

部局名	教育部
課名	学校教育課

I：事業概要

施策事業名	小学校施設営繕								
事業目的	老朽化している学校施設の多機能化の観点も踏まえつつ、児童の安全確保、学びの環境づくりのための施設営繕を行う。								
事業内容	<p>●主な事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内の小学校では、昭和30年代に建築された建物が3棟、40年代が7棟、50年代が9棟で、建築から30年を経過した建物が3分の2を占め、老朽化が著しい状況であり、付属する電気設備、通信設備、給排水設備、消防設備などについても不具合が生じているため、学校要望を踏まえながら、緊急性等優先順位をつけ適宜施設営繕を行う。</li> <li>また、特に優先すべき工事として、長寿命化計画に基づき、老朽化により不具合が発生している施設設備の更新を実施し、施設の適正な管理及び教育環境の整備、児童の安全確保のため、施設営繕を行う。</li> </ul> <p>●主な予算の内訳</p> <table border="0"> <tr> <td>犬山北小学校自動火災報知設備空气管張替工事</td> <td>2,690千円</td> </tr> <tr> <td>池野小学校非構造部材改修工事</td> <td>4,855千円</td> </tr> <tr> <td>東小学校屋上防水工事</td> <td>2,232千円</td> </tr> <tr> <td>犬山西小学校キュービクル改修工事</td> <td>3,685千円</td> </tr> </table>	犬山北小学校自動火災報知設備空气管張替工事	2,690千円	池野小学校非構造部材改修工事	4,855千円	東小学校屋上防水工事	2,232千円	犬山西小学校キュービクル改修工事	3,685千円
犬山北小学校自動火災報知設備空气管張替工事	2,690千円								
池野小学校非構造部材改修工事	4,855千円								
東小学校屋上防水工事	2,232千円								
犬山西小学校キュービクル改修工事	3,685千円								
事業の目標	犬山市小中学校施設の長寿命化計画に基づき、池野小学校の非構造部材の改修や、教育環境に支障をきたす設備故障など、学校図書室など老朽化に伴い対応が必要な箇所について、優先順位を決定し、工事施工に努める。								

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
小学校施設営繕	35,909	1,910	3,300	0	30,699	85%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	35,909	1,910	3,300	0	30,699	85%

令和3年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	2	2	教育振興費	232

部局名	教育部
課名	学校教育課

I：事業概要

施策事業名	小学校教育振興
事業目的	児童や教師が授業で使用する副読本（資料集等）や備品を購入することで、授業の充実を図る。
事業内容	<p>●主な事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師用教科書、教師用指導書、副読本購入費 授業で使用する教師用教科書、副読本等の教材を購入。4月授業開始前に購入し、転入生があれば追加購入する。 1人1冊所有するため、副読本は児童数分、教師用教科書は教科担任分、指導書は学校に1冊ずつ購入する。</li> <li>・修繕料 維持管理及び経年劣化に伴い故障する教材備品を修繕し、長期使用を図る。</li> <li>・図書購入費</li> <li>・教材備品購入費 授業で使用する教材備品を購入。学校へ必要な教材備品（修理不可能で新しく購入が必要なもの、所有していないもの）を調査し、その中から購入するものを検討している。理科教材備品は国庫補助を充当する。（補助率1/2）</li> </ul> <p>●主な予算の内訳 図書購入費 5,500千円 備品購入費 1,769千円</p>
事業の目標	小学校の教師用教科書、指導書、教材備品を購入する。 子ども読書活動の一環として購入するブックトラック、おすすめ本を活用することにより、子どもたちに本をより身近に感じてもらう仕組みづくりを行う。

II：個別事業内訳

（単位：千円）

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
小学校教材等整備	12,955	600	0	2,769	9,586	74%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	12,955	600	0	2,769	9,586	74%

令和3年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	2	2	教育振興費	232

部局名	教育部
課名	学校教育課

I：事業概要

施策事業名	小学校就学援助
事業目的	必要な援助を行うことにより、保護者の経済的負担を軽減し、義務教育の円滑な実施に資する。
事業内容	<p>●主な事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要・準要保護児童援助費 生活保護世帯（要保護）やそれに準ずる程度に困窮している世帯（準要保護）に対し、就学費用の一部を援助する。要保護は、国庫補助が1/2。 援助額は、国庫補助限度額による。 平成29年度より、「新入学児童生徒学用品費」を次年度入学予定者に対する前倒し支給を実施。 令和元年度より、支給単価が増額。 令和元年度より、「卒業アルバム代」を支給を実施。 令和2年度より、給食費の改正に伴い、準要保護児童援助の認定基準を1.4倍未満へ引き上げる。</li> <li>・特別支援教育就学奨励費 小学校の特別支援学級に在籍する児童の保護者に対し、就学費用の一部（就学援助の半額程度）の奨励費を支給する。国庫補助が1/2。 支給費目及び支給額は、国の基準に準ずる。 令和元年度より、支給単価が増額。</li> </ul>
事業の目標	経済的に困窮している家庭対策について、周知徹底していく。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
小学校就学援助	21,303	1,494	0	0	19,809	93%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	21,303	1,494	0	0	19,809	93%

令和3年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	2	3	学校整備費	232

部局名	教育部
課名	学校教育課

I：事業概要

施策事業名	楽田小学校整備
事業目的	犬山市小中学校施設の長寿命化計画に基づいた学校施設の環境整備。また、平成24年度に解散した楽田林友会より、楽田小学校体育館建て替えのために3億5百万円余りの寄附をいただく。寄附の際の附帯要望で謳われている犬山市立楽田小学校の北校舎・体育館等の整備を行い、教育環境の充実を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全体計画                             <ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度 プロポーザル方式により、設計者を決定し、基本設計・地質調査を行う。</li> <li>平成29年度 新校舎・体育館の実施設計。測量調査の実施。仮設道路（進入路）工事を施行。</li> <li>平成30年度 新校舎建築工事の改築工事を施行。</li> <li>令和元年度 既設北校舎解体。跡地に新体育館の改築工事を施行、プール耐震補強改修。</li> <li>令和2年度 既設本館の長寿命化改良工事、既設体育館解体工事を施工。</li> <li>令和3年度 学校周辺整備工事の施行。</li> </ul> </li> <li>●主な事業内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>北校舎、体育館の改築事業に伴って、楽田ふれあい図書館（文化スポーツ課）、児童クラブ移動（子ども未来課）など、施設の多機能化を進める。</li> </ul> </li> <li>●政策等の効果予測                             <ul style="list-style-type: none"> <li>犬山の「学びの学校建築」を基本にして、子どもの安全・安心、環境配慮、ICT等の現代的な教育課題、将来的な課題（児童数の減少による空き教室の利用等）、楽田地区の特性を考慮した学校を目指すことにより、楽田地区の子どもたち、住民にとって住みやすい環境づくりを担う。</li> </ul> </li> <li>●主な予算の内訳                             <ul style="list-style-type: none"> <li>進入路等整備工事 50,600千円</li> </ul> </li> </ul>
事業の目標	進入路を含めた学校敷地南側について、改修工事を実施し、事業を終了する。コロナ禍の影響もあるが、事業完了後は、楽田小学校のグランドオープン式典を実施する。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
楽田小学校整備	50,600	0	0	47,739	2,861	6%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	50,600	0	0	47,739	2,861	6%

令和3年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	2	3	学校整備費	232

部局名	教育部
課名	学校教育課

I：事業概要

施策事業名	犬山南小学校整備
事業目的	犬山市小中学校施設の長寿命化計画に基づいた学校施設の環境整備。犬山市立犬山南小学校の南舎・北舎等の整備を行い、教育環境の充実を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全体計画 令和元年度 耐力度調査実施 令和2年度 基本構想策定後、設計委託業者を決定し、基本設計業務を実施。 令和3年度 基本設計策定後、実施設計業務を実施。 平成4年度 実施設計策定後、工事施行。</li> <li>●主な事業内容 北舎・給食室の建替、南舎の長寿命化改良。</li> <li>●補助金 学校施設環境改善交付金（危険改築、長寿命化改良）補助率1/3</li> <li>●政策等の効果予測 犬山の「学びの学校建築」を基本にして、子どもの安全・安心、環境配慮、ICT等の現代的な教育課題、将来的な課題（児童数の減少による空き教室の利用等）、犬山地区の特性を考慮した学校を目指すことにより、犬山地区の子どもたち、住民にとって住みやすい環境づくりを担う。</li> <li>●主な予算の内訳 実施設計業務委託料 39,858千円</li> </ul>
事業の目標	基本設計業務、敷地測量調査、地質調査を上半期に行い、下半期に実施設計業務に取り掛かる。併せて仮設道路設計業務を行う。 基本設計、実施設計については、ワークショップや説明会（コロナ禍により開催が難しい場合は、書面会議等）を開催し、意見、要望等を設計図書に反映して策定する。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
犬山南小学校整備	49,178	0	29,800	19,378	0	0%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	49,178	0	29,800	19,378	0	0%

令和3年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	3	1	学校管理費	234

部局名	教育部
課名	学校教育課

I：事業概要

施策事業名	中学校一般管理
事業目的	中学校を管理運営していく上で必要な事業を行う。
事業内容	<p>●主な事業内容</p> <p>○中学校管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校を管理運営していくための諸経費</li> <li>・学校保健安全法及び労働安全衛生法に基づき学校医等を配置し、健康診断等の実施に対し支払う報償費。</li> <li>・学校設備や環境整備に関する委託をはじめ、消耗品や光熱水費等の管理運営を行う。特に電気設備、消防設備、浄化槽設備、プールろ過機等は専門的な技師による管理を行う。</li> </ul> <p>○中学校給食</p> <p>学校給食法、学校給食衛生管理基準（文科省）に基づき、生徒の心身の発達に資する学校給食を市内全校において自校方式で実施する。全ての学校で適切な食育が行われるよう、県費負担の栄養教諭等の配置が無い学校に市採用の栄養職員を配置する。調理機器は学校設置者である市が購入、リース契約をする。</p> <p>●主な予算の内訳</p> <p>○中学校管理 光熱水費 31,397千円 施設管理委託料 17,213千円 報償費 14,994千円</p> <p>○中学校給食 賄材料費 143,704千円 学校給食調理業務委託料 78,187千円</p>
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校管理については、中学校を適切に管理運営していくために、学校からの要望を把握しつつ、光熱水費、消耗品費などコスト削減に取り組んでいく。</li> <li>・中学校給食については、調理業務を引き続き民間委託することで人件費を削減し、民間のノウハウと各校の食育活動と連携した魅力ある給食の提供を進める。また、単年度に要する費用の偏りや調理業務への支障が起きないように、調理機器の計画的な更新を進める。</li> </ul>

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
中学校管理	84,128	13	0	688	83,427	99%
中学校給食	228,038	0	0	143,181	84,857	37%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	312,166	13	0	143,869	168,284	54%

令和3年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	3	1	学校管理費	236

部局名	教育部
課名	学校教育課

I : 事業概要

施策事業名	中学校施設営繕				
事業目的	老朽化している学校施設の多機能化の観点も踏まえつつ、生徒の安全確保、学びの環境づくりのための施設営繕を行う。				
事業内容	<p>●主な事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内の中学校では、昭和30年代に建築された建物が2棟、40年代が3棟、50年代が4棟で、建築から30年を経過した建物が5分の4を占め、老朽化が著しい状況であり、付属する電気設備、通信設備、給排水設備、消防設備などについても不具合が生じているため、学校要望を踏まえながら、緊急性等優先順位をつけ適宜施設営繕を行う。</li> <li>また、特に優先的に実施すべき工事として、長寿命化計画に基づき、非構造部材改修工事や老朽化により不具合が発生している施設設備の更新を実施し、施設の適正な管理及び教育環境の整備生徒の安全確保のため、施設営繕を行う。</li> </ul> <p>●主な予算の内訳</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>犬山中学校非構造部材改修工事</td> <td style="text-align: right;">94,191千円</td> </tr> <tr> <td>東部中学校非常放送設備改修工事</td> <td style="text-align: right;">4,015千円</td> </tr> </table>	犬山中学校非構造部材改修工事	94,191千円	東部中学校非常放送設備改修工事	4,015千円
犬山中学校非構造部材改修工事	94,191千円				
東部中学校非常放送設備改修工事	4,015千円				
事業の目標	犬山市小中学校施設の長寿命化計画に基づき、犬山中学校の非構造部材の改修や、教育環境に支障をきたす設備故障など、老朽化に伴い対応が必要な箇所について、優先順位を決定し、工事施工に努める。				

II : 個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
中学校施設営繕	120,167	34,543	62,100	0	23,524	20%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	120,167	34,543	62,100	0	23,524	20%



令和3年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	3	2	教育振興費	238

部局名	教育部
課名	学校教育課

I：事業概要

施策事業名	中学校教育振興
事業目的	生徒や教師が授業で使用する副読本（資料集等）や備品を購入することで、授業の充実を図る。中学校の部活動の振興を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●主な事業内容</li> <li>○中学校教材等整備                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師用教科書、副読本購入費 今年度、中学校の教科書改訂があり教師用指導書、教師用教科書、教材用備品を購入。</li> <li>・修繕料 維持管理及び経年劣化に伴い故障する教材備品を修繕し、長期使用を図る。</li> <li>・教材備品購入費 授業で使用する教材備品を購入。理科教材備品は国庫補助を充当する。（補助率1/2）</li> </ul> </li> <li>○中学校生徒指導                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校生徒進路指導業務 中学校3年生に対する進学指導及び就職指導実施のため、各中学校における進路指導に係る情報の収集、整理及び生徒の進路相談等に関する業務を委託する。</li> </ul> </li> <li>○中学校部活動                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動外部指導員の配置</li> <li>・児童生徒派遣交通費、大会会場借り上げ</li> </ul> </li> <li>●主な予算の内訳</li> <li>○中学校教材等整備 消耗品費 9,261千円 図書館用図書 3,000千円</li> <li>○中学校生徒指導 進路指導委託料（4校分） 414千円</li> <li>○中学校部活動 部活動指導者謝礼（31名分） 6,200千円 各種大会生徒派遣用自動車借上料 2,112千円</li> </ul>
事業の目標	生徒や教師が授業で使用する副読本（資料集等）や備品を購入する。令和3年度の教科書改訂に向け、教師用指導書、教師用教科書、教材用備品を購入する。

II：個別事業内訳

（単位：千円）

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
中学校教材等整備	14,861	600	0	0	14,261	96%
中学校生徒指導	614	0	0	0	614	100%
中学校部活動	10,503	0	0	0	10,503	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	25,978	600	0	0	25,378	98%

令和3年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	3	2	教育振興費	238

部局名	教育部
課名	学校教育課

I：事業概要

施策事業名	中学校就学援助
事業目的	必要な援助を行うことにより、保護者の経済的負担を軽減し、義務教育の円滑な実施に資する。
事業内容	<p>●主な事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要・準要保護生徒援助費 生活保護世帯（要保護）やそれに準ずる程度に困窮している世帯（準要保護）に対し、就学費用の一部を援助する。要保護は、国庫補助が1/2。 援助額は、国庫補助限度額による。 平成29年度より、「新入学児童生徒学用品費」を次年度入学予定者に対する前倒し支給を実施。 令和元年度より、支給単価が増額。 令和元年度より、「卒業アルバム代」を支給を実施。 令和2年度より、給食費の改正に伴い、準要保護生徒援助の認定基準を1.4倍未満へ引き上げる。</li> <li>・特別支援教育就学奨励費 中学校の特別支援学級に在籍する生徒の保護者に対し、就学費用の一部（就学援助の半額程度）の奨励費を支給する。国庫補助が1/2。 支給費目及び支給額は、国の基準に準ずる。 令和元年度より、支給単価が増額。</li> </ul>
事業の目標	経済的に困窮している家庭対策について、周知徹底していく。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
中学校就学援助	21,512	1,050	0	0	20,462	95%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	21,512	1,050	0	0	20,462	95%

令和3年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	3	2	教育振興費	238

部局名	教育部
課名	学校教育課

I：事業概要

施策事業名	岡部・相馬育英奨学						
事業目的	第2代犬山市長岡部益衛氏から教育振興を目的にいただいた寄附を元に犬山市岡部育英事業基金を、相馬半治氏、成朗氏より教育振興を目的にいただいた寄附を元に犬山市相馬育英事業基金を設置し奨学金を支給する。						
事業内容	<p>●主な事業内容</p> <p>○岡部・相馬育英奨学</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岡部育英事業により犬山市内に在住し、犬山市立中学校に在学し、高等学校に進学をする者に奨学金を支給。</li> <li>・相馬育英事業により犬山市内に在住し、犬山市立中学校に在学し、高等学校に進学をする者に奨学金を支給。</li> </ul> <p>○岡部・相馬育英事業基金積立金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基金の運用により生じた利息を基金に積立て、奨学金の支給に充てる。</li> </ul> <p>●主な予算の内訳</p> <p>○岡部・相馬育英奨学</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>岡部育英</td> <td>50,000円×2名＝</td> <td>100千円</td> </tr> <tr> <td>相馬育英</td> <td>50,000円×6名＝</td> <td>300千円</td> </tr> </table>	岡部育英	50,000円×2名＝	100千円	相馬育英	50,000円×6名＝	300千円
岡部育英	50,000円×2名＝	100千円					
相馬育英	50,000円×6名＝	300千円					
事業の目標	犬山市岡部育英事業基金、犬山市相馬育英事業基金について、対象生徒に奨学金を支給する。						

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
岡部・相馬育英奨学	400	0	0	400	0	0%
岡部・相馬育英事業基金積立金	6	0	0	6	0	0%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	406	0	0	406	0	0%